脱毛症の種類と増毛エクステ施術の目安

髪・頭皮の状態を確認し、安全を優先して施術可否を判断します。

脱毛症の種類	主な特徴	施術目安・注意点
脂漏性脱毛	皮脂の過剰分泌やシャンプーの洗い残しなどで頭皮環境が乱れ、抜け毛につながることがあります。	**施術可** 頭皮環境を整えることが大切です。適切なシャンプーやホームケアもご案内します。
男性型脱毛症（AGA）	男性ホルモンの影響などにより毛周期が短くなり、生え際や頭頂部を中心に薄毛が進行するタイプです。	**施術可** 自毛の太さ・密度・抜けやすさを確認しながら、本数や装着位置を調整します。
円形脱毛症	円形・楕円形などに突然脱毛することがあります。自己免疫反応などが関係すると考えられています。	**施術不可** まず医療機関での相談をおすすめします。症状が落ち着いてから施術をご相談ください。
薬剤性の脱毛	抗がん薬など、一部の薬剤の影響で起こる脱毛です。	**施術不可** 治療状況や発毛状態を優先します。施術時期については医療機関にもご相談ください。
接触性皮膚炎による脱毛	カラー剤・パーマ剤・その他の製品による皮膚炎が原因で、抜け毛につながることがあります。	**状態により可** 炎症や刺激がある間は施術しません。頭皮が落ち着いてから状態を確認します。
栄養不足による脱毛	急激なダイエットや偏った食生活などで栄養が不足し、抜け毛につながることがあります。	**施術不可** まず体調や栄養状態の改善を優先し、抜け毛が落ち着いてからご相談ください。
産後脱毛	出産後のホルモン変化により、一時的に抜け毛が増えることがあります。多くは時間とともに落ち着きます。	**経過を見て可** 抜け毛が落ち着き、自毛の状態が安定してからの施術をおすすめします。
牽引性脱毛	きついポニーテールなど、同じ部分を長期間引っ張ることで起こる脱毛です。	**施術不可** まず髪型や結び方を見直し、頭皮・毛根への負担を減らすことを優先します。
びまん性脱毛	女性に多く、頭部全体の髪が均一に細くなり、全体的にボリュームが減るタイプです。	**施術可** 増毛エクステのご相談が多いタイプです。施術中に自毛が切れたり抜けやすい場合は中止します。

大切なポイント
施術可否は脱毛症の名称だけで決めるものではありません。自毛が極端に細い・抜けやすい、頭皮に炎症や痛みがある、急に抜け毛が増えた場合などは、施術を見合わせることがあります。

※この表は増毛エクステ施術時の一般的な目安です。脱毛の診断を行うものではありません。急激な脱毛、円形の脱毛、頭皮の炎症・痛みなどがある場合は医療機関へご相談ください。